

# 日商簿記 2 級直前対策講座

---

過去問類題を解いた後に、  
講師の追加質問に応える事で応用力を高める講座

---

＜工業＞個別原価計算



## 過去問類題を解いた後に、講師の追加質問に応える事で応用力を高める講座

### (個別原価計算)

まずは第133回の5問を解いて下さい。この回は珍しく第5問で個別原価計算が一応20分でどこまで解けるかを考えてみましょう。

その後も、一応最後まで解く努力をしましょう。例えば35分で解けたとしたら、どこを改善すればスピードアップできるかを考えて下さい。

## 個別原価計算（過去問 133-5 類題）

最近の本試験は、難解な表現で問われることが多いので、過去問に比べて表現や資料の記し方を大幅に変更しています。

CMC 製作所では、受注生産を行っているので実際個別原価計算を採用している、次の資料を参照して、各問に答えなさい。なお、仕訳と元帳の記入は月末にまとめて行っている。また、当社の月次決算処理において売上原価に賦課される差異は、予定配賦している製造間接費に関する差異のみである

[資料]

工程管理表

製造番号	着手予定	完成予定	着手	完成	引渡
101	1/7	1/28	1/7	1/28	2/4
102	1/11	2/5	1/11	2/5	2/8
201	2/4	2/15	2/4	2/15	2/18
202	2/12	2/25	2/12	2/25	3/1（予定）
203	2/18	3/8	2/18	3/8（予定）	

原価集計表（1 月分）

	101	102	201	202	203
直接材料費	450,000	150,000	—	—	—
直接労務費	700,000	400,000	—	—	—
製造間接費	840,000	480,000	—	—	—

原価集計表（2 月分）

	101	102	201	202	203
直接材料費	—	—	200,000	300,000	400,000
直接労務費	—	200,000	800,000	500,000	300,000
製造間接費	—	240,000	960,000	600,000	360,000

2 月の元帳（勘定記入）（一部）（単位：円）

製造間接費			製 品		
間接材料費	225,000	予定配賦額 ( ? )	前月繰	1,990,000	当月販売
間接労務費	600,000	配賦差異 ( ? )	越	0	( ? )
間接経費	1,354,000		当月完成	( ? )	次月繰
	( ? )	( ? )	高	( ? )	1,400,000
				( ? )	( ? )

問1 2月の仕掛品勘定を完成しなさい

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越 ( )	製 品 ( )	
直接材料費 ( )	次月繰越 ( )	
直接労務費 ( )		
製造間接費 ( )		
( ? )	( )	

問2 2月の売上原価を計算しなさい

売 上 原 価 =  円

## 解答

問1 2月の仕掛品勘定を完成しなさい

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越	( 1,030,000 )	製 品 ( 4,830,000 )
直接材料費	( 900,000 )	次月繰越 ( 1,060,000 )
直接労務費	( 1,800,000 )	
製造間接費	( 2,160,000 )	
	( 5,890,000 )	( 5,890,000 )

問2 2月の売上原価を計算しなさい

売 上 原 価 =  円

## 2. では、講師の質問タイムといきましょう。

次の資料を追加します。

次の空欄を埋めなさい。

	月初棚卸高	当月仕入高	月末棚卸高
直接材料費（素材）	300,000	（ ① ）	200,000
間接材料費（補助材料費）	（ ② ）	250,000	30,000

	前月末払高	当月支払高	当月未払高
直接労務費（賃金）	（ ③ ）	1,900,000	100,000
間接労務費（給与）	130,000	700,000	（ ④ ）

製造間接費は直接作業時間を基準として配賦している。

なお、当社は前年の実績をベースに製造間接費の予算設定を行っている。

- ・ 製造間接費予算 31,104,000 円
- ・ 基準操業度 15,552 時間

経費の内訳は以下の通りである。

電力料金	130,000
保険料	24,000
減価償却費	900,000
水道料金	300,000

当月の直接作業時間を埋めなさい。

番号	102	201	202	203	合計
直接作業時間	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

2月の製造原価報告書と損益計算書を作成しなさい。

3. 次の質問です。

1. 2. の資料・解答を用いて次の仕訳を作成しなさい。

①当月の材料投入の仕訳

②当月の製造間接費の予定配賦の仕訳

③製造間接費予算のうち変動費予算は 12,441,600 円である。予定配賦で生じた差異を製造間接費勘定から、予算差異勘定と操業度差異勘定に振り替えた。

④当月に掛販売した製品の 20%が返品された。(全製品の原価率は一定とする)

4. 次の条件で仕訳をして下さい。

(損益計算書などの再計算は必要ないものとする)

①当月の材料の掛け購入を行った時に 10%の材料副費を予定配賦していた。掛け購入時の仕訳を行いなさい。

②当社の材料副費は倉庫担当の給料の 10%と倉庫家賃の 20%である。各勘定科目から材料副費勘定に振り替えた。なお、当月の給料は 600,000 円、倉庫家賃は 300,000 円であった。

③材料副費差異勘定に振り替えた。

<解答用紙>

①		②		③		④		
⑤		⑥		⑦		⑧		⑨

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費

月初棚卸高	(	)	
当月仕入高	(	)	
合計	(	)	
月末棚卸高	(	)	(

II 直接労務費 (

III 製造間接費

間接材料費	(	)	
間接労務費	(	)	
電力料金	(	)	
保険料	(	)	
減価償却費	(	)	
水道料金	(	)	
合計	(	)	

製造間接費配賦差異 (

当月製造費用 (

月初仕掛品原価 (

合計 (

月末仕掛品原価 (

当月製品製造原価 (

損益計算書

(単位：円)

I 売上高 10,000,000

II 売上原価

月初製品有高 (

当月製品製造原価 (

合計 (

月末製品有高 (

原価差異 (

売上総利益 (

(以下略)



3. 仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

4. 仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

<解答>

①	800,000	②	5,000	③	200,000	④	30,000		
⑤	120	⑥	480	⑦	300	⑧	180	⑨	1,080

製造原価報告書

(単位：円)

I 直接材料費

月初棚卸高 ( 300,000 )

当月仕入高 ( 800,000 )

合計 ( 1,100,000 )

月末棚卸高 ( 200,000 ) ( 900,000 )

II 直接労務費 ( 1,800,000 )

III 製造間接費

間接材料費 ( 225,000 )

間接労務費 ( 600,000 )

電力料金 ( 130,000 )

保険料 ( 24,000 )

減価償却費 ( 900,000 )

水道料金 ( 300,000 )

合計 ( 2,179,000 )

製造間接費配賦差異 ( △ 2,160,000 )  
19,000 )

当月製造費用 ( 4,860,000 )

月初仕掛品原価 ( 1,030,000 )

合計 ( 5,890,000 )

月末仕掛品原価 ( 1,060,000 )

当月製品製造原価 ( 4,830,000 )

損益計算書

(単位：円)

I 売上高 10,000,000

II 売上原価

月初製品有高 ( 1,990,000 )

当月製品製造原価 ( 4,830,000 )

合計 ( 6,820,000 )

月末製品有高 ( 1,400,000 )

原価差異 ( 19,000 ) ( 5,439,000 )

売上総利益 ( 4,561,000 )

(以下略)

3.

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕掛品 製造間接費	900,000 225,000	材料	1,125,000
②	仕掛品	2,160,000	製造間接費	2,160,000
③	操業度差異	259,200	予算差異 製造間接費	240,200 19,000
④	売上 製品	2,000,000 1,087,800	売掛金 売上原価	2,000,000 1,087,800

4.

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	材料	1,155,000	買掛金 材料副費	1,050,000 105,000
②	材料副費	120,000	給料 倉庫家賃	60,000 60,000
③	材料副費配賦差異	15,000	材料副費	15,000